循環で繋がるまち 長井

山形県長井市（2022年度選定）

1.地域の特徴と課題及び目標	25 年にわたり継続してきた循環型地域づくり事業「レインボープラン」の新しい在り方への転換、人口密度の低下により損なわれつつある都市機能を維持するための「スマートシティ」、産業振興交流拠点「タス」の再整備による新産業の創出と産業構造の変革の 3 本柱を中心に、人口減少に歯止めをかけ、「子育て世代」の定着を目指す。	**2.関連するゴール**	
3.取組の概要 **(三側面をつなぐ統合的取組概要を含む)**	【経済】新たな仕事の創出に向けて、産業振興機能や宿泊機能、インキュベーションオフィス機能等を有する複合ビル「タス」を最大限に活用する。 【社会】「Society5.0 の実現」を掲げ、デジタル技術を有効に活用することで、人口減少に対応できる「スマートシティ長井」の実現を目指す。 【環境】レインボープランを礎に、再生可能エネルギーの創出を中心とする新しい循環の在り方を形成する。		

4.自治体SDGs推進等に向けた取組

【経済】…「タス」を新産業振興の拠点として位置づけ、建物が持つ機能・施設を最大限に活用できるよう、ワーケーションやサテライトオフィスの誘致を図り、新産業の創出や地場産業との協業・共創を促進させた。

【社会】…市内限定で利用できるデジタル地域通貨「ながいコイン」を展開・導入した。市内の店舗やスマートストアなどで利用可能なものとし、地域経済循環の創出を図った。

な
ながいコインのロゴ

【環境】…レインボープランを礎に、再生可能エネルギーの創出を中心とする新しい循環の在り方を検討し、「バイオガス発電施設の導入可能性調査」を2023年に実施した。

5.取組推進の工夫

地域内連携、金融機関連携の他、地方創生人材派遣制度を活用した、デジタル専門人材及びグリーン専門人材の招聘（事業連携）により、各種事業を推進した。

6.取組成果

【経済】インキュベーション、サテライト、レンタルオフィス、eスポーツスタジオの利用者数
→ 2023年実績 6,751人 ／ 2024年目標値 11,050人 … 達成率 61%
→ 協力企業（日本・アルカディア・ネットワーク株式会社等）、連携金融機関（アドバイザー：東北財務局山形財務事務所）、人材育成（ものづくり人材育成推進協議会）等の官民協働と西置賜地域の地域間連携により事業を進めた。

【社会】ながいコインによる決済金額（累計）
→ 2023年実績 550,216千円 ／ 2024年目標値 107,000千円 … 達成率 514%
→ 「ながいコイン」については恒常利用が進み、物価高騰対策としての全市民配布や、視察ツアーへの組み込みによって、継続的に流通する地域通貨として展開した。

【環境】レインボープランの理念と精神を土台としたバイオガス発電施設の建設
→ 2023年実績 0件 ／ 2024年目標値 1件 … 達成率 0%
→ レインボープラン評価検討委員会の提言をもとに、可能性調査を実施した。

7.今後の展開策

三側面の各事業は単独でも完結するが、バイオガス発電施設で創出する「クリーン電力の供給」で横串を刺すことによって、利用拡大やレジリエンスの向上等、相乗効果を狙う。
また、社会面の取組の実践において、地方創生人材派遣制度を活用し、デジタル専門人材及びグリーン専門人材を招聘すること（事業連携）で、電力供給先やながいコインの活用方法の拡大等、社会面の取組と環境面の取組の発展を目指す。

8.他地域への展開状況（普及効果）	（参考）：① 「スマートシティ長井」の実現に向けた取り組みについて	市外視察対応件数（累計） ５５件
	② 「レインボープラン」について	市外視察対応件数（累計） １４件